



## 投資環境

2024 年 11 月 22 日

### 足元のドル高・円安の進行（補足）

「足元のドル高・円安の進行」(11/15) 補足：

今年 7 月の政府・日銀によるドル売り・円買い介入や日銀による追加利上げにより円高が進行した局面と、足元の局面との大きな違いに、投機筋による円売りポジションの大きさが挙げられます。

米商品先物取引委員会（CFTC）によると、ヘッジファンドなど非商業部門（投機筋）の日本円の売り越し幅は、7 月には 18 万枚（1 枚は 1,250 万円）を超える最大規模に積み上がっていましたが、11 月 12 日時点で 6 万 4,902 枚と、7 月に比べ大きくありません（図表 1）。

7 月の局面では、為替介入、追加利上げで、大きく積み上がった円売りポジションが解消されたことが、ドル円を大きく押し下げました。

その後 8 月以降は、ドル円はおおむね米長期金利と連動した動きが継続しています。

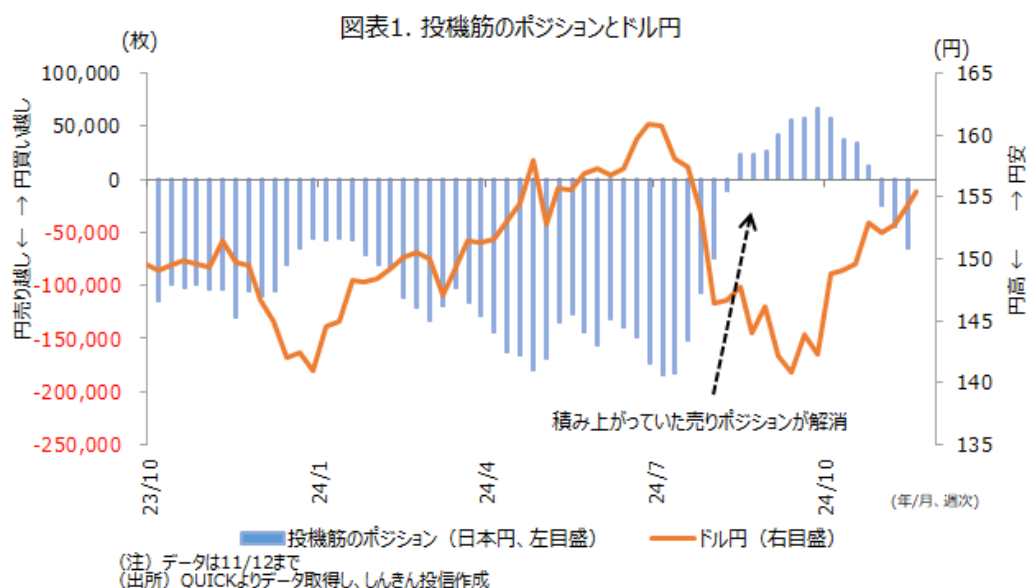
投機筋による円のポジションやその後のドル円の動きからは、

- ・ 為替介入、追加利上げのドル円の押し下げ効果は、7 月に比べ限定的
- ・ 米長期金利が緩やかながらも低下していかなければ、継続的なドル安・円高は見込めない可能性

などが読み取れます。

米長期金利は、米利下げは継続するものの、堅調な米経済を背景に利下げペースは緩やかになるとの見方が強まっていることに加え、次期トランプ政権による政策がインフレ圧力を強め、国債増発により米国債の需給を悪化させることへの警戒などから、一時 4.5%まで上昇しました。

もっとも、次期トランプ政権の政策への期待や警戒はある程度金融市場に織り込まれつつある中、極端な関税引き上げなどが相手国との交渉により緩和されるとの見通しが強まれば、米長期金利も緩やかに低下に転じ、ドル円についても下値を探ることも想定されます。



(ストラテジスト 鈴木和仁)



しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号  
Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会／一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会  
〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL : [https:// www.skam.co.jp](https://www.skam.co.jp)

＜本資料に関してご留意していただきたい事項＞

- ※本資料は、ご投資家の皆様に投資判断の参考となる情報の提供を目的として、しんきんアセットマネジメント投信株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- ※本資料は、信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。また、いかなるデータも過去のものであり、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。
- ※本資料の内容は、当社の見解を示しているに過ぎず、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。記載内容は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。
- ※投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の補償の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- ※投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。
- ※特定ファンドの取得のお申込みに当たっては、販売会社より当該ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ又は同時にお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

【お申込みに際しての留意事項】

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式や債券等の値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

■投資信託に係る費用について

(お客様に直接ご負担いただく費用)

- ◆ ご購入時の費用・・・購入時手数料 上限 3.3%(税抜 3.0%)
- ◆ ご換金時の費用・・・信託財産留保額 上限 0.3%

(保有期間中に間接的にご負担いただく費用)

- ◆ 運用管理費用(信託報酬)・・・純資産総額に対して、上限年率 1.628%(税抜年率 1.48%)
- ◆ その他の費用・・・監査費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、有価証券売買時の売買手数料等および外貨建資産の保管等に要する費用は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきます。また、投資信託証券を組み入れる場合には、お客様が間接的に支払う費用として、当該ファンドの資産から支払われる運用管理費用、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。投資信託に係る上記費用(手数料等)の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、しんきんアセットマネジメント投信が運用する全ての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくお読みください。

※本資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。